

草の根活動 交流NEWS

第715号
2024年 7月9日
会員数 158万 3382人
読者数 4542人

消費税をなくす全国の会
〒114-0023
東京都北区滝野川3-3-1-201
電話03-3940-0401
FAX03-3949-9885
Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp

政治を変えて、消費税減税・インボイス廃止実現を！

世論調査では政治資金規正法「改正」は「評価しない」が6割に上り、各地の宣伝行動では金権腐敗の自民党政治への怒りとともに、「生活が苦しい、消費税減税を」の声があふれています。「自民党政治と小池都政を変える」と臨んだ東京都知事選挙は残念な結果でしたが、市民と野党の共闘、無数の「ひとり街宣」などが広がりました。政治を変える力に結び付け「消費税減税・インボイス廃止」を実現させましょう。

2024 パンプを読んで 島根県の新会員より

島根県大田市で毎月、第2日曜日に憲法カフェを始めて6年目。主に平和や原発、福祉、暮らしの問題をテーマに開催しています。陸上自衛隊の富士演習場での実弾訓練で焼く5.6億円もの弾薬が使われている記事を読み、10月の憲法カフェで「税の問題」を取り上げることに。出雲民商に2024パンプを勧められ一気に読了しました。大変わかりやすく、消費税が大企業・富裕層の減税の穴埋めに使われてきたこと、軍拡の財源になるということがよくわかり、インボイス問題も非常にわかりやすい。政治を変え、消費税・インボイス廃止実現に希望を与えてくれるパンプです！

「あなた達の趣旨に賛同します」三重の会



6月24日、桑名駅前桑名各界連3団体5人の参加で署名宣伝行動。「消費税減税で一致する政党と市民が手をつなげば政治を変えられます」との訴えに「あなた達の趣旨に賛同します」と40代の男性をはじめ20人から署名が寄せられました。

「軍備増強は困る」富山の会

6月24日、富山市内総曲輪商店街で署名宣伝行動。64歳の女性は「消費税は社会保障にほとんど使われていないですね。軍備増強では困る」と署名。同じく署名に協力した72歳の女性は「値上げの連続で生活のやりくりで頭が痛い。せめて消費税を下げてください」と訴えました。

ブロック交流会 開催

消費税が導入されてから36年目を迎え、なくす会の活動をさらに発展させるため、4か所に分けた活動交流会を6月8日（京都）、15日（東京・福岡）、

19日（仙台）で開催しました。参加は27都道府県・52人でした（オンライン含む）。

情勢では、「インボイス導入、確定申告で消費税への関心が高まっている今、会の出番」（北海道、福岡）。

活動では、交流会をきっかけに会の活動を再開したい（宮城、山形、東京・江東、山梨、岐阜）。新たな会の結成も（京都・亀岡）。**活動報告**では、「読者だより」を発行（青森）。「毎月宣伝、ニュース発行。共産党の支部単位になくす会の結成を」（福島）。「なくす会の行動をSNSに投稿。フォロワーは数千人」（京都）。「毎月会議、宣伝、議会請願。学習会には100人参加」（三重）。「毎月2カ所で宣伝。100人の読者に手配り。ニュースは90号まで発行。パンプ学習会開催」（和歌山）。「4月の総会で、若者が役員に就任し、活動を引き継ぎ」（鳥取）。「毎月常任世話人会開催し学習。日曜市宣伝」（高知）などの豊かな活動報告が。



今後の活動では、「宣伝カーの運行」（青森）、「入会申込を兼ねたチラシを共闘団体に配布」（神奈川）。

「SNSの活用」（京都）。**パンプ普及**では、「各界連参加の団体、民青の食料支援で訴え」（青森）。「1300部購入し、付き合いのなかった所へ訪問・紹介」（福島）。

「土建、農民連に勧める」（兵庫）。「パンプを使って、活動を広げたい」（福岡）。**会報**については、「減ったら増やす」（青森）。「未購読の共産党議員に購読とパンプを訴え」（三重）。**悩み・課題**は、「会の実態が不明、把握したい」（秋田）。「会の担い手を育てていない」（埼玉）。「高齢化、人材不足、若者との接点がない」（東京・六郷）。「体制作りが課題」（広島）。「宣伝行動を再開したい」（鹿児島）などの発言がありました。